

安全で住みよい
まちづくり
ニュース
防災交通課
(内208)

防災への意識改革 72

日ごろ、私たちは「自分は大災害に遭うことはない」と漠然と考えています。しかし、近年の大災害は、思いもよらないところで多く発生しています。

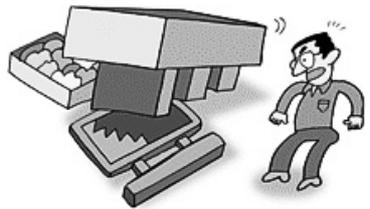
一日前プロジェクト 災害の一日前に戻れるとしたら、 あなたは何をしますか

内閣府では、災害への危険を認識してもらい、日ごろからの具体的な備えを実践する国民運動の輪を広げるための取り組みとして、「一日前プロジェクト」を始めています。これは、実際に被災された方から「もし、災害の一日前に戻ることができたら、あなたは何をしますか」をテーマに本音の話を聞き、話の内容から導き出される教訓や身につまされる体験を短い物語にまとめたものがホームページで紹介されています。

物語は、地域、職場、家庭などさまざまな場面で生まれています。掲載されている物語を紹介します。

「仏壇が三メートルも飛んできた。買ったばかりの大型テレビもタンスの下敷きに。」

自宅は六階なんですけど、地震が起きたのは、娘がちょうどお使いから帰ってきて、パソコンでデジカメの編集をしているところでした。すると、ガガガガッと何か異様な音がして、仏壇が三メートルぐらい離れた自分のところに飛んできました。娘は、パソコンだけを持って逃げ



回っていましたね。仏壇の修理をしなければと、仏具屋さんに見積もりを出してもらったら六百万だったので、「接着剤で自分で直す」と言いました。ずっと今でも直しています。

それから、買ったばかりの四十八インチの大型薄型テレビも、倒れた拍子に倒れてきたタンスの下敷きになってペチャンコになってしまいました。あれっ、それはないやろっ。って。もう、保険なんか全然かけてないですからね。

(福岡市五十代 男性)
これらのエピソードが、家族の団らんの話になり、町内の回覧板、会社の社内報などにコラムとして連載されるなどにより、広く活用され多くの方が減災のための取り組みに関心を持つきっかけになればと思います。
ホームページ
<http://www.bousai.go.jp/km/imp/>

飲料水兼用耐震性貯水槽 設置工事を行っています

工期は平成20年 1月15日まで

利用者の方には不便をお掛けしますが、協力をお願いします。

